

プランの役割

本プランは、生物多様性国家戦略や東京都の「緑施策の新展開」を踏まえ、世田谷区基本構想・基本計画を上位計画とし、都市整備方針や環境基本計画などの関連計画と連携を図りながら、生物多様性の視点を持って、より良い街づくりを進めていくための計画です。

对象区域

世田谷区全域

理 念

環境共生をリードする住宅都市として、区民との協働によって生物多様性の保全と持続可能な利用を進め、豊かな地球環境の一部となる世田谷の地域環境を次代に伝えていきます。

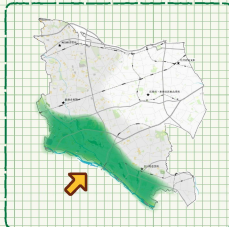
将来像(1) 3つの地域ごとの将来イメージ

“みどり・生きもの・ひとがつながって、生物多様性の恵みをみんなが実感し、大切にしている街・世田谷”

みどりの連続性が高い地域

「多摩川・国分寺崖線エリア」

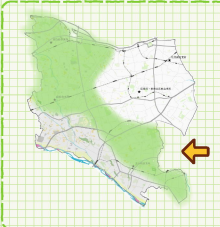
- * 国分寺崖線・多摩川のみどりとみずが保全され、生きもののネットワークが広がっています。
- * 公園緑地では、区民協働の整備や維持管理・運営が進んでいて、生きものが保全されています。
- * 多摩川周辺でのみどりや生きものの保全活動が盛んに行われ、生きものの観察・体験の場が広がっています。



住宅地の中に中・小規模
緑地が点在する地域

「住宅地エリア」

- ★ 体験農園・区民農園や農業公園が増え、区民が農を生活に取り入れています。
- ★ 住宅地に庭木、水鉢、プランターなど生きものを呼ぶ工夫がされています。
- ★ 公園緑地や住宅のみどりには、区民の協働によって、在来種の緑化が行われています。



市街化が進み比較的みどり
が少ない地域

「市街地エリア」

- ★ 商店街などで「せたがやそだち」を使ったイベントが行われています。
- ★ 建物の周辺や屋上・壁面にみどりとみずの空間がつくられ、生きものが集まっています。
- ★ 市民緑地や小さな森において、区民協働による在来種の保全が行われています。

